◎ 展示会・イベント情報

1.「茶房 磁叟庵」 2020 年春のご案内

「茶房 磁叟庵」の 2020 年春のご案内です。営業は 2020 年 4 月 8 日（水）～7 月 5 日（日）です。ギャラリーは「縁～えにし～心の書画家 伊藤一樹の世界」からスタートします。詳しくは下記へお問合せください。

会期： 2020 年 4 月 8 日（水）～7 月 5 日（日）
営業時間： 10:00～16:00
休業日： 日・月・火曜日
お問合せ：
〒509－6361 瑞浪市陶町猿爪 1104
TEL・FAX： 0572－65－2010

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

1. 横山美術館【愛知・名古屋】（https://www.yokoyama-art-museum.or.jp/event/）

3 月 14 日（土）～6 月 14 日（日）

企画展：京焼 その技が歴史をつくる

江戸時代の京都では仁清や乾山に代表されるように、雅やかな文化と精緻な技に培われた品格ある陶磁器がつくられてきました。しかし、明治維新によって首都機能が東京に移されると、天皇をはじめとする上流階級も東京へと転居し、京焼は従来の高級陶磁器の購買層を失ってしまいます。そこで、粟田では錦光山宗兵衛(きんこうざんそうべえ)らが海外市場に目を向け、京都ならではの洗練された美意識で薩摩焼を華やかに装飾した「京薩摩」をつくって、高い評価を得ることに成功しました。また、松風嘉定(しょうふうかじょう)や七代錦光山宗兵衛の主導で明治 29 年(1896)に京都市陶磁器試験場が設立され、エリート技師たちが当時の最先端技術をリードしていきました。本企画展では明治・大正時代を中心に、伝統を守りながら革新的な陶磁器を生み出そうと研鑽を重ねた、京焼の美の世界を紹介いたします。

2 愛知陶磁美術館【愛知・瀬戸】

（https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2020/t_tsuji/index.html）

4 月 11 日（土）～5 月 31 日（日）

企画展： 異才 辻晋堂の陶彫「陶芸であらざる」の造形から

陶彫による抽象作品で国際的に活躍した彫刻家、辻晋堂（1910～1981）の生誕 110 周年を記念する企画展「異才 辻晋堂の陶彫」を開催します。本展では、辻が陶彫を制作した京都時代に焦点を当て、1958 年の第 29 回ヴェネツィア・ビエンナーレ出品作品を始めとする陶彫作品と版画・素描作品から、その表現の世界を御紹介します。

3 とうしん美濃陶芸美術館【岐阜・多治見】

（https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/pdf/minotougei.pdf）

4 月 8 日（水）～6 月 28 日（日）

企画展： 虎渓山のやきもの ～古墳時代から現代まで～

虎渓山を含む多治見市共栄地区は、古くからやきものと深い関わりのある地区です。この地域は、多治見の中心を流れる土岐川によってつくられた河岸段丘の上面に広がっています。やきものに適した粘土が豊富に埋蔵されたこともあって古代からの窯跡が多数点在しています。本展では、古墳時代から現代までの虎渓山にゆかりのあるやきものをご覧いただくとともに、この地域のやきものの歴史を紹介します。